



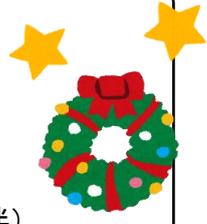
秋の読書週間イベントのお知らせ



講座「おりがみ教室」 ～クリスマスの飾りを作ろう～



- ★日 時： 11月11日(日) 13:30～
- ★会 場： いこいの里 大会議室
- ★講 師： 日本折紙協会認定講師
- ★定 員： 25人
- ★参加費： 無 料
- ★対 象： 小学生以上(小学生は保護者同伴)



ブックリサイクル

図書館で役目を終えた雑誌や図書を無料で差し上げます。

- ★日 時： 10月26日(金) 10:00～
- ★会 場： 各図書館
- ★1人5冊まで。なくなり次第、終了となります。ご了承ください。



図書館では、様々なイベントを企画しています。ぜひ、ご参加ください。

図書館カレンダー ～10月～

日	曜日	中央	犀川	勝山
1	月		休館日	休館日
2	火	休館日		
3	水			
4	木			
5	金			
6	土	①10:30～ ②14:00～		
7	日			
8	月		休館日	休館日
9	火	休館日		
10	水			
11	木			
12	金			
13	土		きのこの子	①10:30～ ②14:30～
14	日			
15	月		休館日	休館日
16	火	休館日		
17	水			
18	木			
19	金			
20	土			
21	日			
22	月		休館日	休館日
23	火	休館日		
24	水			
25	木	館内整理日		
26	金			
27	土	おひさまの会		もこもこ
28	日			
29	月		休館日	休館日
30	火	休館日		
31	水			

☆講座
「鳥のモバイル作り」
10/11(木)

☆ギャラリー
『みやこ町文化協会
豊津絵画教室展示会』
10/6(土)～10/21(日)

特設

- 話題書セレクション
- 実りの秋
- 美味しい小説

ひよこのおはなし会(0～2歳くらい)
10時30分～
犀川 毎月第2土曜のみ

土曜日のおはなし会(3歳くらいから)
中央・犀川 14時～
勝山 14時30分～

図書館員のおすすめ本

『子どもは善悪をどのように理解するのか？』

長谷川 真里 (著) ちとせプレス (2018)



「善悪とは?」「道徳的とは?」大人でも答えることが難しいこの問題を、子どもは、赤ちゃんはどのように理解しているのでしょうか。数多くの実験結果からわかった、発達とともに変化していく子どもの頭の中を覗いてみませんか? [K]

『ドビュッシーと歩くパリ』

中井 正子 (著)
アルテスパブリッシング (2018)



フランスの音楽家、ドビュッシーが暮らしたパリの街を、ピアニストである著者が彼の人生と音楽と共に案内する。よく知られる曲に「月の光」や「亜麻色の髪の乙女」があるが、巻末にある19曲の解説を読んだ後では、また違った魅力を発見できる。著者の演奏CD付きで、曲を聴きながら楽しめる。[リ]

『費用・技術から読みとく 巨大建造物の世界史』

森山 高至 (監修) 実業之日本社 (2016)



誰もが知っているピラミッド。ですが、その建築にいくらの費用がかかっているかご存知の方は少ないのでは?この本で、29の巨大建築の新しい知識を仕入れてみませんか。[お藤]

『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』

新井 紀子 (著) 東洋経済新報社 (2018)



中高生の読解力を調べてみると二択問題で正解率57%と「読解力」がない事がわかった……。今、話題のAI(人工知能)は人間をこえられるか?人間の現状と未来は、どうなるの?興味深い所である。[Dream]

『ロボット・イン・ザ・ガーデン』

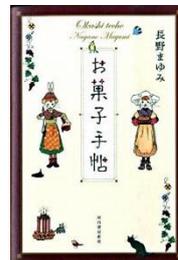
デボラ・インストール (著)
小学館 (2016)



人工知能の開発が進み、家事や仕事にアンドロイドロボットが従事する、近未来のイギリス。崩壊寸前の夫婦の家の庭に壊れかけのロボット「タング」がやってくる。そこからダメ中年とロボットの珍道中が始まる。[Y o u]

『お菓子手帖』 長野 まゆみ (著)

河出書房新社 (2009)



時代を感じさせる駄菓子から、洋菓子・和菓子まで、著者の甘くてなつかしい記憶を綴った自伝風スイーツ小説。読んだ後、無性に駄菓子が食べたくなりました。[しっぽ]

新着資料案内

図書館のホームページから新着資料の確認ができます。貸出中のもの、他館所蔵のものは、お近くの図書館まで取り寄せることもできます。 ホームページアドレス <http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.html>

～小説～

■『ガラスの殺意』 秋吉理香子(著) 双葉社 ■『日傘を差す女』 伊集院静(著) 文藝春秋 ■『すぐ死ぬんだから』 内館牧子(著) 講談社 ■『母のあしおと』 神田茜(著) 集英社 ■『誘拐の免罪符』 小島正樹(著) 南雲堂 ■『深夜の博覧会』 辻真先(著) 東京創元社 ■『十津川警部哀愁のミステリー・トレイン』 西村京太郎(著) 徳間書店 ■『ボードレス』 菅田哲也(著) 光文社 ■『ブロードキャスト』 湊かなえ(著) KADOKAWA ■『ヨーコさんの“言葉”』 佐野洋子(著) 講談社 ■『君の唇に色あせぬ言葉を』 阿久悠(著) 河出書房新社

～その他～

■『旅する美』 白洲信哉(著) 目の眼 ■『九州の戦争遺跡』 江浜明德(著) 海鳥社 ■『ネットではわからない空き家問題の片づけ方』 大久保恭子(著) 主婦の友社 ■『CGで甦る江戸庶民の暮らし』 小学館 ■『NHKスペシャル人類誕生』 NHKスペシャル「人類誕生」制作班(編) 学館プラス ■『繕う愉しみ』 ミスミノリコ(著) 主婦と生活社 ■『秒速!山ごはん』 荻原浩司(著) 山と溪谷社 ■『水揚げ&花のケア』 薄木健友(著) 誠文堂新光社 ■『歌を作ろう!』 ミマス(著) 音楽之友社 ■『甲子園夏の記憶』 森岡浩(監修) 洋泉社